



文・写真 宮崎雅子

サンルームの癒し

予定日まで あと少し 待ち遠しく 心がはずむ

竹のシェード 絣布 アジアの香り漂う部屋で

ふっくらとした 臨月のお腹に手を当てる

つわりは苦しかったけど 元気に育ってくれた

お産のときは お祭りのよう

みんなの手が 触れて 繋がっていた

いのちは 眩しくて パワーを秘めている

サンルームで過ごす 母子の時間

天窓からさす 朝日で目覚め

光と風と闇の 別世界に 誘われる

みやざきまさこ◎写真家、写真集に『Mother いのちが生まれる』（医学書院）、『NICUのちいさないのち』（メディカ出版）、共著に『母になる』（メディカ出版）など、連載「いのちのささやき」に登場してくださる助産師の方や施設がありましたらご連絡をお待ちしています。Email: m-miya@cjs-net.ne.jp